企業連新春交礼会ひらく

「部落解放和歌山県企業連合会２０２０年新春交礼会」を1月17日、アバローム紀の国でひらき、多くの来賓が出席した。

企業者の発展をめざし、ともに闘うことを誓う瀧口理事長

企業連を代表して瀧口秀光・理事長から「日本経済は、非正規労働者の増大で、ワーキングプア世帯や貯蓄ゼロ世帯が急増し、子どもや高齢者の生活にも影響がおよび、深刻な社会問題となっている。部落の中小零細企業においては、仕入価格の高騰や消費増税、経費の増大、他社との価格競争などにより経営が圧迫されている。さらに少子高齢化・人口減少などにも直面し、経営層の高齢化や人手不足など多くの課題をかかえている。今後、後継者や人材育成へのとりくみと企業者の育成・振興にむけ各自治体や関係機関と連けいし施策を講じていくよう強く働きかけていく」とのあいさつではじまった。

藤本哲史・県連執行委員長から「推進法の施行から4年目を迎え、県条例制定をはじめ、法律の具体化にむけたとりくみを強化していかなければならない」と部落解放運動の方向性が示された。

来賓を代表して、稲本英介・和歌山県商工観光労働部長、森井均・和歌山副市長よりあいさつをいただいた後、飯田圭一・日本政策金融公庫支店長による乾杯のあいさつがあり、出席者全員で懇親を深めた。

【来賓】
●和歌山県
稲本英介・商工観光労働部長、角田充司・商工労働政策局長、高瀬彰彦・商工観光労働総務課長、三龍正人・商工振興課長、田嶋久嗣・企画部長、原田武男・県参事人権局長事務取扱、嶋岡真志・人権政策課長、伊藤寿英・人権施策推進課長
●和歌山市
森井均・副市長、前寿広・総務局長、入山喜一郎・産業政策課長、清水出・商工振興課長、和田年晃・市民環境局長、谷口修章・市民部長、平尾朱美・人権同和施策課長
●日本政策金融公庫
飯田圭一・和歌山支店長兼国民生活事業統轄、朝広純一・中小企業事業統轄、森下勝弘・農林水産事業統轄、須藤健文・田辺支店長
●和歌山県信用保証協会堀川与利人・常務理事
●和歌山商工会議所和歌哲也・専務理事
●和歌山県商工会連合会　小川真一・参与
●㈱紀陽銀行本店上土谷武・人事相談室長
●顧問税理士　仁木靖夫、橋本義彦、籔田雅秀、坂本昌一、向川茂弘、大西省悟
●顧問弁護士　藤井幹雄
●顧問行政書士　新井悠喜雄、髙川泰延
●顧問司法書士　戸井洋木
●顧問社会保険労務士　青石裕之
●融資審査委員　小倉正義
【祝電】
●衆議院議員　岸本周平
●和歌山県商工会連合会　森田敏行・会長
（順不同・敬称略）

今後の日程（変更もあります）

（4月）
17　第５回青年対策部会議（同和企業センター）
19　第５回女性対策部会議
22　起草委員会　（同和企業センター）
　第１回企業・産業振興部近畿ブロック会議　（ＨＲＣビル）
23　狭山ビラ統一行動
26　第91回メーデ和歌山県中央集会（砂の丸広場）※規模縮少

（5月）
8　拡大県委員会　（同和企業センター）
14～17　復帰48年（第43回）5.15平和行進（沖縄）※中止
22　狭山ビラ統一行動
　狭山市民集会

◆各支部大会
4／28　那賀支部青年部
　湯浅
5／2　平井支部女性部
5／9　古和田

差別を見逃さず、ともに
差別撤廃を　差別事件報告集会

部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会と部落解放同盟和歌山県連合会が主催する「２０１９年度差別事件報告集会」を12月9日、ビッグ愛でひらき、各支部、県共闘会議、県実行委員会、行政関係者など、約250人が参加した。

田上武・実行委員会会長、藤本哲史・県連執行委員長からのあいさつで、「推進法」の具体化と「条例」制定、モニタリング事業の実施など、各立場での差別撤廃に向けたとりくみについて提起された。

第1講の基調提案では、宮本修作・県連書記長から部落差別の状況や諸課題をはじめ、「推進法」を補完する条例の制定について、差別事件の状況と具体的な差別へのとりくみについて示された。

あいさつする田上実行委員会会長

第2講では、「高野山真言宗による差別事件」と題して佐々木基文・高野山真言宗社会人権局長から、山内で発生した僧侶や寺院による差別やヘイトスピーチについて報告があった。これらをうけ、差別を見逃さず見抜く力をつけるために研修会を実施する。また、各宗派が連けいした具体的なとりくみも報告された。

第3講では、福島隆志・糾弾闘争本部から「和歌山県内で発生した差別事件」として、報告された差別事件は30件を超えた。差別事件の多様化や露骨化、行政職員や大学教授、僧侶などによる差別行為の発生にあわせ、インターネットを悪用した差別事件などの報告がされた。

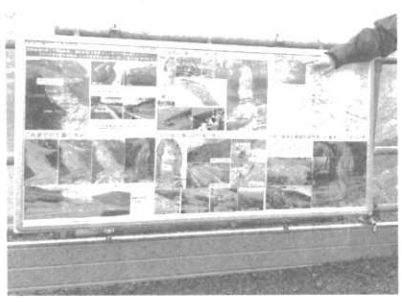
佐々木
社会人権局長

閉会では、参加者全員で差別をなくす行動を行政・企業・団体・個人の具体的な行動において差別撤廃をすすめることを確認し、集会を終えた。

全国農林漁業運動部長会議及び現地視察研修会

第76期第2回全国農林漁業運動部長会議及び現地視察研修会を12月17日～18日、熊本市でひらかれ、飯田勝・農林漁業運動部長と担当事務局が参加した。

はじめに、フィールドワークで阿蘇大橋復旧現場を視察し、阿蘇地区の復旧状況について国交省九州地方整備局の大宅康平・工務第2課建設専門官から説明された。つづいて、熊本県農業大学校に移動し、池田清郎・中央農林漁業運動部長から「全国各地の農業のとりくみを学び、地域にもち帰って活かしてほしい」とあいさつした。協議事項では「熊本県農業研究センターにおける研究の概要」と題して、坂梨二郎・同センター課長から説明があった。また「熊本県立農業大学校」の学校紹介を池田健三・同校部長から説明された。


職員から阿蘇大橋復旧現の状況説明をうけた

2日目は、熊本県総合福祉センターで全国農林漁業運動部長会議がひらかれた。はじめに、三村茂男・農林水産省経営局経営政策課課長補佐から「令和2年度予算概算要求の概要」人権問題啓発事業（予算11百万円）、強い農業・担い手づくり総合支援交付金（予算29、607百万円）等について概要説明がされた。

和歌山県連から「来年度予算で、製氷機の購入について和歌山県からの相談等に早急に対応してほしい」と要求した。

支局からのお知らせ

お気軽にお電話を！

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

（発送先）〒640－8314
和歌山市神前405－3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛